

佳作

リオオリンピックを見て

滋賀県 栗東市立大宝西小学校四年 水口 直哉

ぼくは、今年リオオリンピックを見ていました。日本は、金メダルが十二こ、銀メダルが八こ、銅メダルが二十一こでした。

ぼくは、この中で銀メダルを取った、男子のリレーに感動しました。このリレーは、一位はジャマイカでした。でも、日本の選手は、ファイナリストがいませんでした。それでもアメリカに勝ちました。アメリカはファイナリストがいるのに、なぜだと思えますか。ぼくは、日本のチームの気合、チームワーク、そしてだんけつ力が強かったからだと思います。山縣選手、飯塚選手、ケンブリッジ飛鳥選手、そして、しが県彦根市出身の桐生選手たちのだんけつ力、チームワークがものすごくよかったです。だと思います。また、四人の気合がみんな同じくらい強かったのでしょうか。みんなの力、そして心がつながる

とこのような勝利につながるんでしょうね。

また、仲間をしろらいする気持ちも他国よりもものすごく強いんだらうなと思いました。世界は、日本のチームが銀メダルを取ったことにおどろいていたそうです。でもボルト選手は、

「日本のチームは、他の国よりも、ものすごく練習をしていた。そして、なによりも、だんけつ力、仲間をしろらいする力がつよい。だから世界がおどろいているが、ぼくは前から速いと思ってたのでおどろいていない。」

「日本のチームは、チームワークがいいね。」
と言っていました。世界はおどろいているが、戦っている人は気づいている。だから、たとえ自分のチームにひっしな人でも、それが分かるくらいチームワークやだんけつ力が強いんだらうと思います。このだんけつ力やチームワークは、ファイナリストがいなくて今までいっしょに戦ってきた人だからこそ、ここまで強いだんけつ力やチームワークがどこかで知らない間に生まれたのでしょうか。そして、おたがいに気持ちも分かり合える仲間と出会えたのがうらやましいです。

このようにリレーやサッカーなどの競技で一番大事なものは、強さではなく仲間をしんらいすることだと思えます。仲間をしんらいすることによって、強くなれるんだと思えます。また、友達関係も同じです。しんらいできる仲間を見つければ、今の親友、大親友よりももっと仲よくなれると思えます。人をしんらいすることは、日常にも大切なことだと思えました。

ぼくも、しんらいできる仲間ができるように、ぼく自身が人からしんらいされる人間になりたいと思えました。